

I 第7週の発生動向 (2009/2/9~2009/2/15)

- インフルエンザについては、東地方+青森市、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が続いています。八戸、五所川原保健所管内においては**注意報**が続いています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所において、新たに**警報**が発令されました。
- 感染性胃腸炎については、むつ保健所において、前週に引き続き**警報**が続いています。

II 第7週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(85) インフルエンザ	309	22.07	144	9.60	238	17.00	146	20.86	254	28.22	50	8.33	1,141	17.55	-339
(74) RSウイルス感染症	1	0.11			1	0.11			1	0.17			3	0.07	1
(75) 咽頭結膜熱	1	0.11	8	0.89					1	0.17	5	1.25	15	0.36	4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	2.44	47	5.22	3	0.33	7	1.40	9	1.50	1	0.25	89	2.12	38
(77) 感染性胃腸炎	80	8.89	34	3.78	13	1.44	16	3.20	22	3.67	67	16.75	232	5.52	-84
(78) 水痘	18	2.00	2	0.22	7	0.78	4	0.80	4	0.67	3	0.75	38	0.90	-58
(79) 手足口病	20	2.22	11	1.22			1	0.20	1	0.17	1	0.25	34	0.81	7
(80) 伝染性紅斑	1	0.11	6	0.67									7	0.17	-2
(81) 突発性発しん	10	1.11	3	0.33	3	0.33	1	0.20	2	0.33	3	0.75	22	0.52	4
(82) 百日咳															-1
(83) ヘルパンギーナ					1	0.11							1	0.02	1
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.00			1	0.11	2	0.40	1	0.17			13	0.31	3
(86) 急性出血性結膜炎															0
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50	2	0.67	4	2.00							9	0.82	1
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					1	1.00	4	0.67	-6

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、上十三1人、青森市2人

(21年計：37人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

IV 病原体検出情報

インフルエンザAH1型が、東青地域で4株、弘前地域で2株、下北地域で8株分離されました。また、インフルエンザAH3型が、東青地域で3株、弘前地域で3株分離されました。

弘前地域の感染性胃腸炎患者4名のうち、11/14検体採取の1名からアデノウイルス2型が、1/19検体採取の1名からアデノウイルス41型が、1/27検体採取の2名からノロウイルスGIIが検出されました。また、下北地域の感染性胃腸炎患者1名(2/4検体採取)からノロウイルスGIIが検出されました。

感染症の窓

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

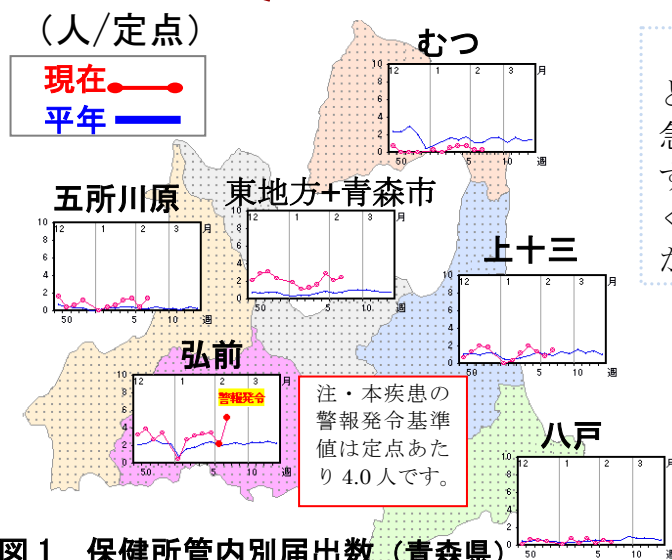


図1 保健所管内別届出数(青森県)

本疾患は、**咽頭痛**、**咽頭発赤**、**莓舌**などを主症状とする感染症です。現在、弘前保健所管内において、急増し、4歳から6歳の年齢層が多く見られています(図1,2)。感染は、家庭や学校などで起こりやすく、保菌者の唾液や鼻汁の飛沫によって起こることから、**外出後のうがい**、**手洗いの徹底**が大切です。

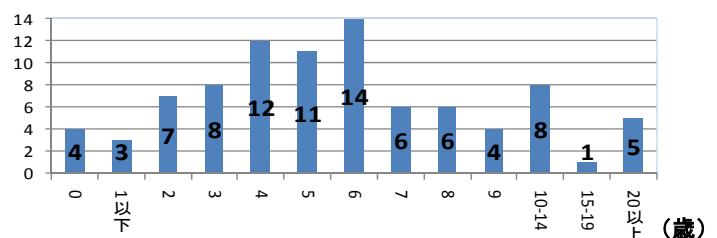


図2 年齢別患者数(青森県第7週)

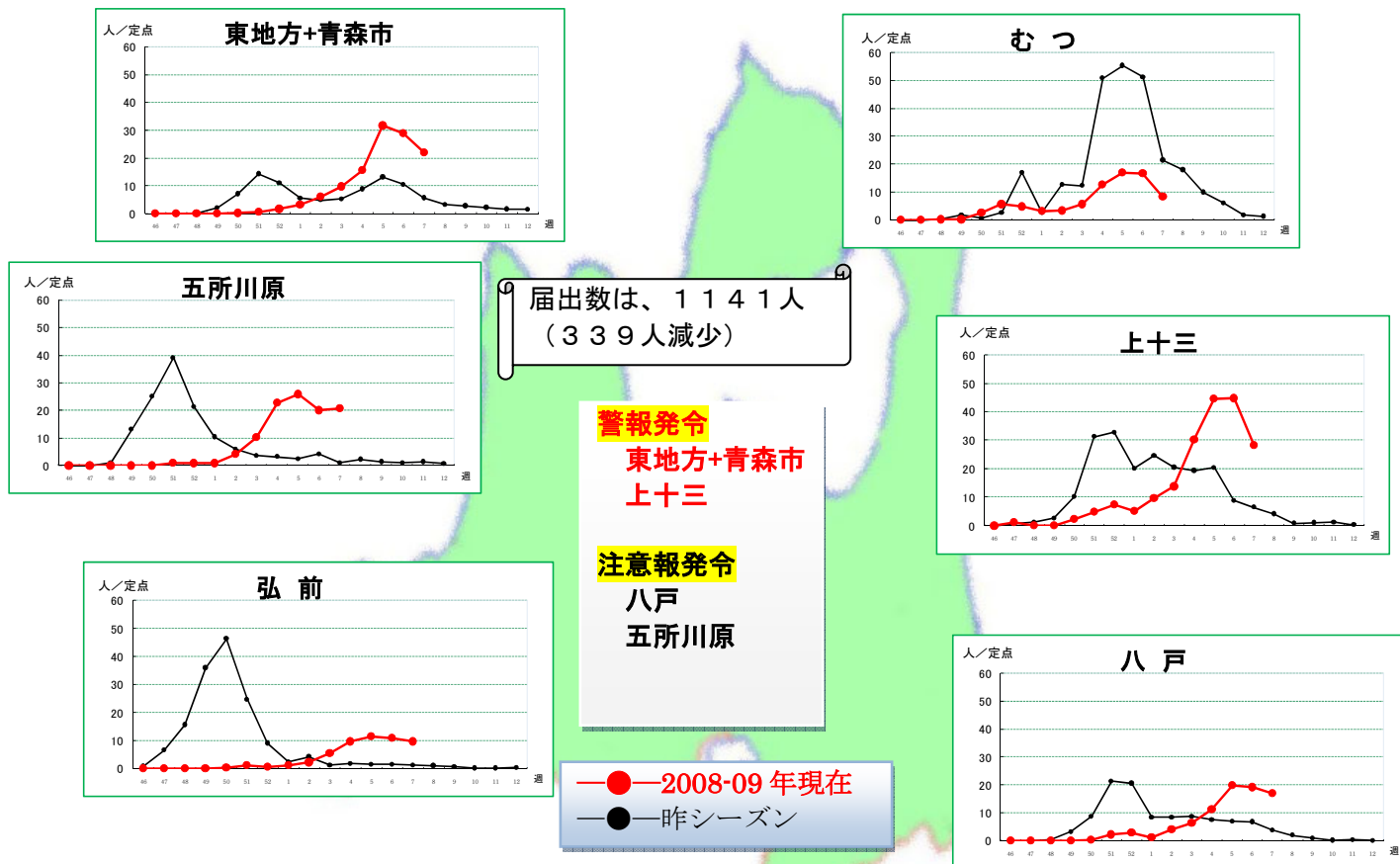
V インフルエンザ情報 第7週 (2/9~2/15)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	5	144	238	146	254	50	304
A型	5	135	198	80	225	48	43
B型	0	9	7	66	23	2	0

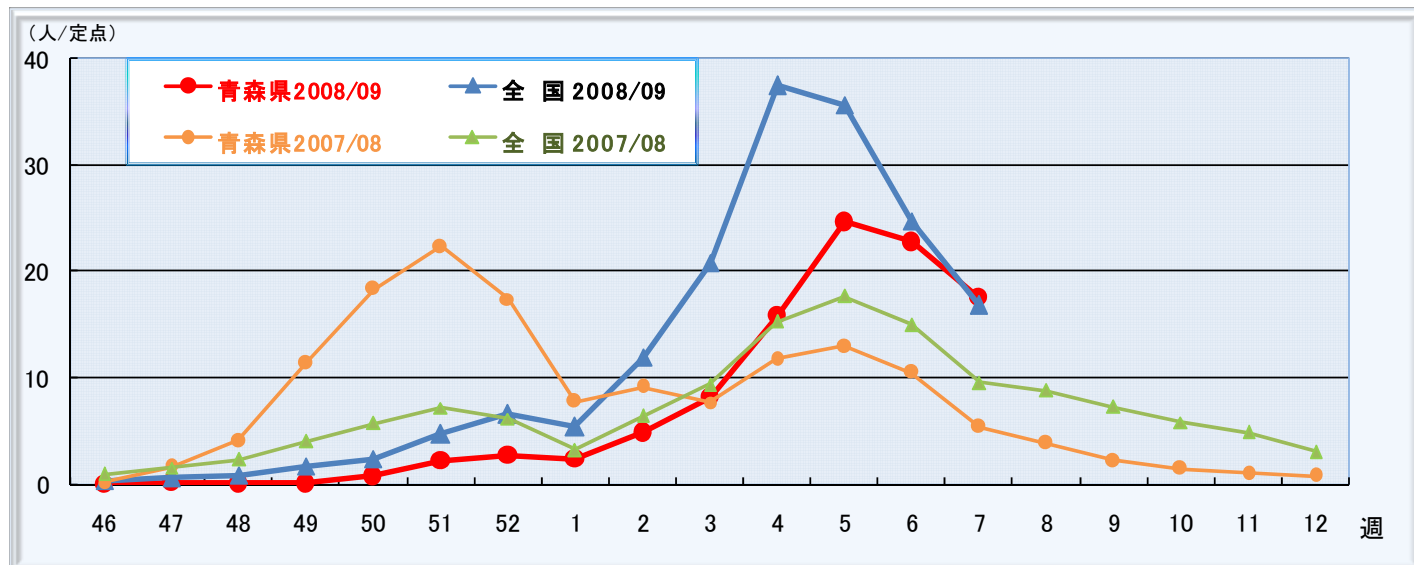
A型が流行していますが、五所川原保健所管内ではB型の報告数が多く、流行しているように思われることから、他の管内においても今後の動向に注意が必要です。

VI 保健所管内別届出数推移 * Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VII 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html